

推進委員ちば

Vol.349

2020.6.

千葉県交通安全活動推進センター



【千葉南地域交通安全活動推進委員の活動報告】

4月22日から28日までの間、千葉南警察署管内の主要交差点において、警察・関係団体と協力し、分散登校日に合わせて通学する児童の街頭監視活動を実施して、交通事故防止を呼び掛けた。

シートベルトとチャイルドシート着用推進強化月間

実施期間 令和2年6月1日(月)から令和2年6月30日(火)まで

後部座席もしっかり締めた？

全座席でのシートベルト着用は、道路交通法で義務付けられています。

シートベルト・チャイルドシートはあなたを守る命綱。

出発前の確認を忘れずに、安心安全なドライブをしましょう。



推進委員協議会の活動

(活動報告から抜粋しました。)

千葉東



◆交通事故防止キャンペーン

4月10日、千葉市若葉区殿川橋交差点付近において、警察・関係団体と協力し、通行車両にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。

流山



◆新入学児童への交通安全指導

4月6日、流山警察署管内において、警察・関係団体と協力し、管内の小学校に下敷き等の啓発物資を配布して、新入学児童に交通事故を呼び掛けた。

柏



◆街頭監視活動

春の全国交通安全運動期間中に、柏警察署管内の主要交差点において、警察・関係団体と協力し、街頭監視活動を実施して、通行車両に交通事故防止を呼び掛けた。

佐倉



◆街頭監視活動

春の全国交通安全運動期間中に、佐倉警察署管内の主要交差点において、警察・関係団体と協力し、街頭監視活動を実施して、通行車両に交通事故防止を呼び掛けた。

銚子



◆街頭監視活動

4月10日、銚子市三崎町交差点において、警察・関係団体と協力し、街頭監視活動を実施して、通行車両に交通事故防止を呼び掛けた。

いすみ



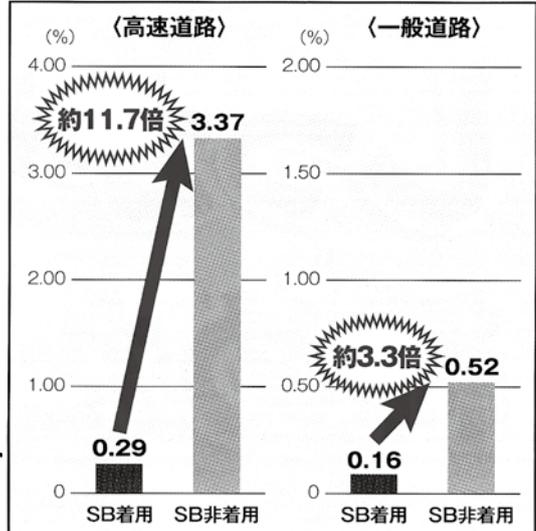
◆自転車安全利用キャンペーン

4月7日、いすみ警察署内において、警察・関係団体と協力し、来署した方に自転車シミュレータを体験してもらい、自転車の交通事故防止を呼び掛けた。

シートベルトを着用しないと、こんなに危険!



自動車後部座席同乗中死傷者のシートベルト着用・非着用別致死率【過去10年(平成22～令和元年)合計】



警察庁HP(交通安全のための情報)より

シートベルトの正しい着用方法

シートベルトは正しく装着すると交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減できます。

肩ベルト(三点式ベルトの場合)は、首にかからないようにする。また、肩ベルトがたるまないようにする。



妊娠中の正しいシートベルト着用方法

シートベルトの正しい着用は、交通事故の被害から母体や胎児を守ります。ただし健康保持上、シートベルトの着用が適当かどうかを医師に確認しましょう。



- 腰ベルト・肩ベルト共に着用する。
- 肩ベルトは首にかからないようにする。
- 肩ベルトは胸の間を通し、腹部の側面に通す。
- 腰ベルトは腹部のふくらみを避け、腰骨のできるだけ低い位置を通す。

チャイルドシートの正しい使用方法

6歳未満の子供を車に乗せる場合は、チャイルドシートの取扱説明書などに従って、正しく使用しましょう。事故の被害を軽減するほか、子供が運転操作を妨げることを防止できます。

- 子供の成長に合わせて、体格に合うものを使用する。
- なるべく後部座席で使用する。(助手席エアバック装備の場合)
- 座席に確実に固定する。

※やむを得ず助手席に設置する場合は、座席をできるだけ後ろに下げ、前向きに固定する。



4 月 末 現 在 の 交 通 事 故 発 生 状 況

(令和2年4月末)

◆ 県内の交通事故発生状況

区 分	総 数	前 年 比
発生件数	4,293	-1,231
死者数	38(36)	-16(-16)
負傷者数	5,113	-1,606

※ 死者数欄の()内は、発生件数を示す。

◆ 死者数の多い都道府県

順 位	区 分	死者数	前年比
1	愛 知	55	+ 1 2
2	神奈川	54	+ 1 3
3	東 京	48	+ 7
4	大 阪	47	+ 5
5	埼 玉	42	- 5
6	静 岡	41	+ 4
7	千 葉	38	- 1 6
8	兵 庫	37	- 3
9	北海道	34	+ 4
10	福 岡	32	± 0

○全国の死者数 961人
(前年比 -41人、-4.1%)

◆ 死亡事故の特徴

1 事故類型別発生状況

○ 事故類型別では、車両単独が14件(38.9%)、車両対歩行者が12件(33.3%)、車両相互が10件(27.8%)となっている。
(なお、車両相互には、自転車関連事故5件が含まれている。)

2 昼夜間別発生状況

○ 昼夜別では、昼間が18件(50.0%)、夜間が18件(50.0%)となっている。
○ 昼間の類型別では、車両単独が9件(50.0%)、車両相互が7件(38.9%)、車両対歩行者が2件(11.1%)、また夜間の類型別では、車両対歩行者が10件(55.6%)、車両単独が5件(27.8%)、車両相互が3件(16.7%)となっている。

3 年齢層別死者数

○ 高齢者が25人(65.8%)と最も多く、次いで若者が5人(13.2%)、50歳代が3人(7.9%)、40歳代が2人(5.3%)、子供、25歳～29歳及び30歳代がそれぞれ1人(2.6%)となっている。

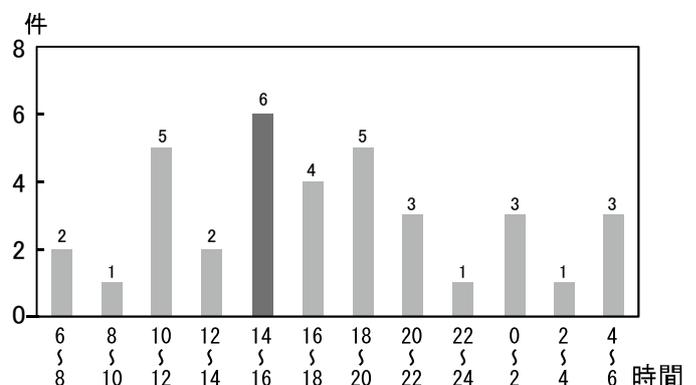
4 状態別死者数

○ 四輪乗車中死者が16人(42.1%)と最も多く、次いで歩行中死者が12人(31.6%)、自転車乗用中死者が7人(18.4%)、二輪乗車中死者が3人(7.9%)となっている。
なお、歩行中死者のうち7人(58.3%)が高齢者である。
○ 四輪乗車中死者のうち、シートベルト非着用者は6人である。

5 法令違反別発生状況

○ 前方不注意が16件(44.4%)と最も多く、次いで運転操作不適が10件(27.8%)、安全不確認が4件(11.1%)、速度超過が2件(5.6%)、信号無視、動静不注視、一時不停止及び安全運転義務違反その他がそれぞれ1件(2.8%)となっている。

6 時間別死亡事故発生状況



発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会 千葉県交通安全活動推進センター ホームページアドレス http://www.chiba-ankyo.or.jp	〒261-0025 千葉市美浜区浜田2丁目1番地 千葉県警察本部交通部運転免許本部内 TEL 043-271-8481
--	---